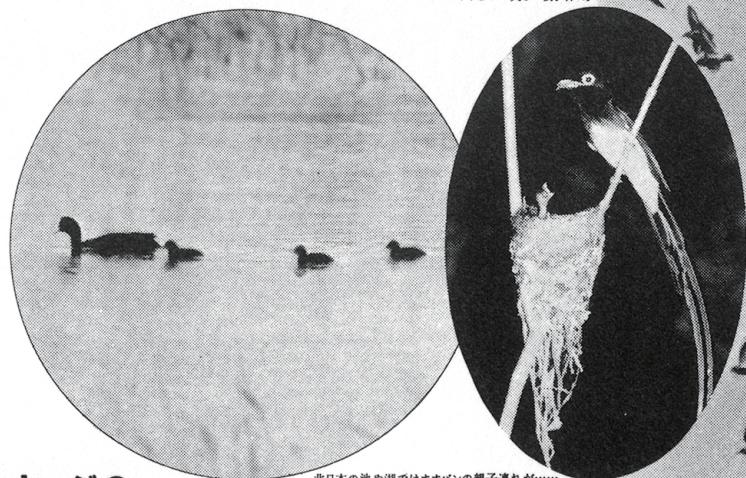


いま、干潟で見られるハマシギのむれ



自然を見つめよう 愛鳥週間



トリからのメッセージ①

木々のみどり、雲のうごき、風の爽やかさ、
陽ざしの輝き、土のにおい——植物も昆虫
も鳥も魚も、生きものたちがみな、新し
い生命をはぐくむための活動に懸命な、
ドラマチックな時期——五月は、自然に接
するいちばんよい季節ですが、あなたが
自然に接しようとするとき、それは何も
「わざわざ見に出かけること」ではないの
です。ほんの身のまわり——公園、道ば
た、庭、街路樹などを見まわし、あなたの
地域の自然に親しむ習慣をつくっていただきたいのです。どんなところにも自然
は息づいています。身近な自然について、
できるだけの知識をふやし、自然の変化
にもっと敏感になってほしいのです。

だからといって、自然そのままのものを
やたらと採集したり、殺したりしたら、

生きのたちの本当の生活がわからなくな
ってしまいます。彼らの生活は、そっと
のぞくだけにしませんか。それは人間の
手もとに自然を引き寄せるのではなく、
あるがままの自然へ、人間の目を持って
いくという、「人間も自然の一員として謙
虚に——」の発想も加わって、のことです。

人間生活のまわりにあるごくありふれ
た自然の保護、これが、自然から鳥だけを
取り出して可愛がるだけではない、「愛鳥
週間」のほんとうの目的に近づくことであ
り、私たちひとりひとりが自覚しなければ
ならないことだと思うのです。



ヒトのもの中に「トリの保護区」を

財團
法人
日本鳥類保護連盟
サントリ一株式会社

●この広告は、財團法人日本鳥類保護連盟の指導を得て、
サントリ一株式会社がシリーズとして制作するものです。